

## 案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア王国
2. 事業名	カンボジア王国 中学校体育科教育指導書作成支援・普及プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	カンボジアではポルポト政権下で教育関係者が虐殺され、教育文書も残っておらず、その影響を受けて現在でも中学校体育科教育の整備が遅れている。中学校の体育教員を養成している国立体育・スポーツ研究所（NIPES）及び学校体育・スポーツ局（DPESS）の体制構築・人材育成、指導書の作成、指導要領・指導書を用いた体育授業の普及が求められている。
4. プロジェクト目標	カンボジアの中学校体育科教育において学習指導要領及び指導書に基づき新しい体育科教育を普及する基礎が確立されるとともに、モデル州・モデル校の関係者が新しい体育科教育を適切に実施できる能力を習得する。
5. 対象地域	プノンペン市、バタンバン州及びスヴァイリエン州（計3州）、カンボジア全国
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	〈直接受益者〉中央委員会、組織委員会、技術委員会、拠点州3州の州教育局、対象中学校校長／教員及び生徒 〈間接受益者〉NIPESの教員及び生徒、全国中学校の教員及び生徒
7. 活動及び期待されるアウトプット	〈アウトプット〉 1. DPESS及びNIPESが中学校体育科教育の中央機関として、体制が構築され、人材が育成されている。 2. DPESS及びNIPESが協力して、全国共通の体育授業プログラムが確立されている 3. 対象校において学習指導要領・指導書に基づいた体育授業が実施されている。  〈活動〉 1. DPESS及びNIPES向けのワークショップや本邦研修を実施する。役割を明確化した組織図を作成する。担当者の知識確認を行う。 2. 指導書作成の人員を選出し、ドラフトを継続作成する。指導書の内容について専門家を協議を行う。指導書作成／活用のためのワークショップを開催する。指導書の内容を踏まえ、教育省への提言を作成し、提出する。 3. 学習指導要領及び指導書を印刷する。対象校でワークショップを実施し、モニタリングを行う。
8. 実施期間	（西暦）2017年1月～2020年9月（3年9ヵ月）
9. 事業費概算額	49,802千円
10. 事業の実施体制	〈カンボジア〉プロジェクト・マネージャー、プロジェクト・オフィサー、体育教科専門家 〈日本国内〉国内調整員、総務・経理担当者
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド
2. 活動内容	被災地や紛争地及び開発途上国の子ども達、障害者、貧困者層の人々に対し、1) 対人地雷犠牲者への自立支援、2) スポーツイベントの主催・後援・協力、3) フォーマル、ノン・フォーマル教育支援事業、4) 国際理解協力の推進および実施等の事業を実施。